

DXを加速させる NTT-TXの取り組み

私たちは、「Crossing makes the Future. まじわる力で 未来を創る」をコーポレートメッセージに掲げ、NTT 研究所の技術を軸に、世の中の先端技術やサービスを掛け合わせ、お客様に価値を提供することをミッションとし、事業を展開しています。

昨今のデジタルトランスフォーメーション（DX）化へのニーズが高まる中、当社は業務プロセス自動化による業務効率化とアジャイル技術者を筆頭とした開発技術人材の増強により、自社とお客様のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進を強化します。

■ DX 推進体制～自社の業務効率化や新たな付加価値の提供へ～

「自らの DX 化」を通じた業務プロセスの更なる効率化や新たな付加価値サービス提供などを推進するため、CDO(Chief Digital Officer：最高デジタル責任者)を設置。自社の業務効率化の加速と開発人材の育成・強化の取り組みを進めています。

■「ICT グランドデザイン」を制定～社内 ICT 環境を最適化～

クラウドサービスを中心としたデジタル化に対する期待の高まりを背景に、自社の業務プロセスのさらなる効率化とともに、お客様の DX 化支援を強化することを目的に、「ICT グランドデザイン」を 2022 年 4 月に策定しました。当社は、ロケーションフリー、クラウド化などの観点を含めた先進的な開発環境へと最適化をし、生産性を向上させ、グローバルスタンダードな開発スタイルの構築・整備を図り、競争力の強化を実現します。

NTT テクノクロス「ICT グランドデザイン」

(1) Fit to Standard/クラウド活用

先進的なデファクトサービス/クラウドサービスに業務を合わせる発想への転換を図ります。

(2) リモートワーク対応

リモートワークにおいても、快適に業務を行える ICT 環境を確立します。

(3) ゼロトラストセキュリティ

接続するネットワークに依存せず、セキュリティを担保する考え方を適用します。

(4) カーボンアウェア

CO₂ 排出量把握およびその削減を意識して、サステナブルな ICT 環境をめざします。

■ 開発技術人材の増強～アジャイル開発の基礎知識を全社員が習得～

ビジネス拡大に向けた IT 技術の活用が進む中、スピーディにお客様へ IT サービスを提供することが求められています。また、新規ビジネスのリーンスタートアップを支え、柔軟に変更を繰り返しながらシステム開発を進める「アジャイル開発」は高いニーズがあります。これらを背景に、当社では、アジャイル開発の関連資格となるスクラムマスター資格支援を行うとともに、アジャイル開発マインドの全社浸透に向け、2022 年 7 月にアジャイル開発の基礎研修を全社員に対して実施しました。加えて、ソフト道場研修やデータサイエンティスト養成講座などの社内研修を通して、開発技術人材を増強による専門性の向上を図り、自社だけでなく、お客様の DX 推進を加速させます。

■ 業務効率化により DX を推進～自社やグループ企業のソリューションを導入～

自社や NTT グループのソリューションの積極的な導入により業務効率化を加速させ、自社とお客様の DX 推進を実現します。例えば、業務システムの UI（ユーザーインターフェース）を改善・拡張を実現する自社ソリューションの「BizFront/SmartUI」の導入です。既存システムを改修することなく導入が可能のため、システム担当者の業務負担を軽減するだけでなく導入費用も抑制し、導入により削減できた時間や予算の有効活用により、競争力の向上を実現します。また、NTT グループ標準となる RPA ソフトウェア「WinActor[®]」^{*}の導入により業務プロセスを効率化させリソースを確保することで、既存事業の強化と新規事業の開発を図ります。

^{*}「WinActor」：NTT アクセスサービスシステム研究所で研究開発された技術をベースとした、NTT アドバンステクノロジー株式会社の純国産 RPA ツール。